

【ご参考資料】

2014年2月27日

2月26日発表のブラジルの政策金利の引き上げについて

政策金利を10.5%から10.75%に引き上げ

2014年2月26日（現地時間）、ブラジル中央銀行は金融政策決定会合において、政策金利を0.25%引き上げ、年率10.75%とすることを全会一致で決定しました。概ね市場予想に沿う結果ですが、利上げ幅については、一部の市場参加者は0.5%を予想していました。

利上げ自体は8会合連続、特に昨年5月以降先月の金融政策決定会合までの6会合では、毎回0.5%の利上げ幅で利上げを実施してきましたが、今回、利上げペースを減速させる決定をしました。

利上げペースを減速させる決定

今月上旬に発表された1月のインフレ率は5.59%と、前月の5.91%から鈍化し、2012年11月以来の低水準となりました。

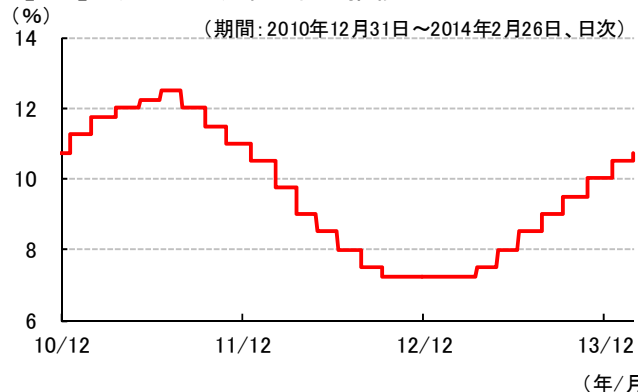
また、前回の金融政策決定以降に発表された、経済活動指数をはじめとする経済指標も、市場予想を大きく下回る弱い経済実態を示していました。

こうしたことから、市場参加者の間では、今回の利上げサイクルもすでに終盤に近づき、同中銀が今回の金融政策決定会合で利上げペースを減速させるだろうとの声が強まっていました。

2月27日午前9時頃の東京外国為替市場では、ブラジルレアルが対米ドル、対円ともに前日比0.4%程度のブラジルレアル安となっています。

次回の金融政策決定会合は2014年4月1-2日（政策発表は日本時間4月3日）の予定です。

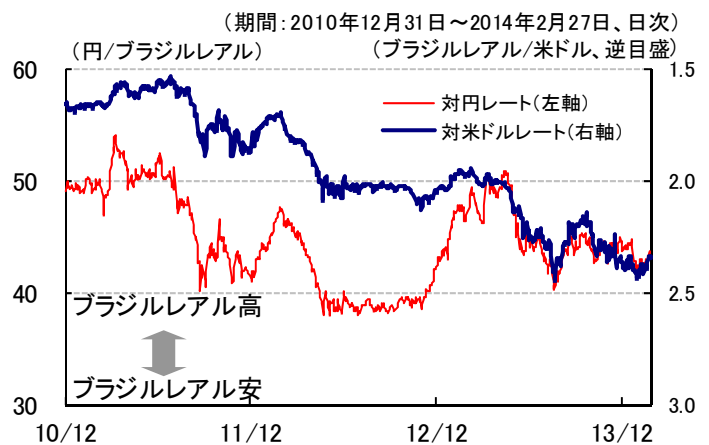
【図1】ブラジルの政策金利の推移



【図2】ブラジルのインフレ率（拡大消費者物価指数、IPCA）（前年同月比）の推移



【図3】ブラジルレアルの対円・対米ドルレートの推移



※2014年2月27日は東京時間9時頃の値 (年/月)

(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。